

## インフルエンザ情報

国立感染症研究所感染症情報センター（<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>）は、「インフルエンザ流行マップ第21週（5月20日～5月26日）平成25年5月29日現在」を平成25年5月31日に公表した。

（コメント）

2013年第21週の定点当たり報告数は1.21（患者報告数5,981）となり、前週の定点あたり報告数1.87よりも減少した。

定点医療機関からの報告をもとに、定点以外を含む全国の医療機関をこの1週間に受診した患者数を推計すると約6万人（95%信頼区間：4万人～7万人）で減少した。年齢群別では0～4歳、5～9歳、10～14歳がそれぞれ1万人となっている。また、2012年第36週以降これまでの累積の推計受診者数は約1,370万人（95%信頼区間：1,339万人～1,400万人）であった。

都道府県別では沖縄県（4.64）、富山県（3.81）、宮崎県（3.81）の順となっている。前週の定点あたり報告数より増加したのは、沖縄県を含めて3道県のみであった。

全国の保健所地域で警報レベルを超えているのは0箇所となった。保健所地域で注意報レベルのみを超えているのは1箇所（沖縄県）のみであった。

2013年第16週から第20週の国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、B型が最も多く検出されており、次いでAH3亜型、AH1pdm09の順となっている。詳細は感染症情報センターホームページ（<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html#graph>）を参照されたい。

なお、第17週～第21週までの都道府県別の定点当たり報告数の推移【感染症情報センター発表の「感染症発生動向調査週報」等を基に機構で作成】

※定点とは、発生動向調査の観測用に選ばれた医療機関のことで、地域の流行状況について全体の傾向を可能な限り反映できるように、保健所ごとに設定されています。

